

各位

株式会社安評センター

「Q Exactive (LC-MS/MS)」装置導入に関するお知らせ

トランスジェニックグループの株式会社安評センター（代表取締役社長：福永健司、静岡県磐田市）は、この度、LC-MS/MS装置※1を1台追加導入いたしましたので、ここにお知らせいたします。

当社は2019年にタンデム四重極型の質量分析計を搭載したLC-MS/MS装置を導入し、これを用いた試験受託を再開させておりました。この装置は低分子の微量分析において最も強みを発揮する装置であり、低分子医薬品や農薬、ひいては生理活性物質などを標的とした測定環境を整えてまいりました。しかし、近年、質量分析の対象化合物は、低分子のみならず高分子にも拡大する傾向にあります。このような状況を鑑み、この度、高分子の微量分析にも対応すべく、超高分解能を持つLC-MS/MS装置の導入に踏み切りました。

今回導入した機器は、フロントとしてThermo Scientific™ UltiMate™ 3000、MSとしてThermo Scientific™ Q Exactive™を採用いたしました。いずれもサーモフィッシャーサイエンティフィック社製の装置となっております。同社独自のThermo Scientific™ Orbitrap™テクノロジーを採用しているこの質量分析装置は、高い分解能を活かした精密質量分析が可能な装置となっており、タンパク質や核酸といった高分子の分析に適用できるパフォーマンスを有しています。他方、低分子の分析においても、超高分解能をもたらす高精度の選択性によって、卓越したパフォーマンスを発揮いたします。

当社は、幅広い動物実験を実施できるノウハウをバックボーンとしつつ、今回のQ Exactiveの導入により、対応可能な定量分析のフィールドを今まで以上に拡大し、さらに幅広いサービスの提供を開始いたします。

※1 LC-MS/MS 化合物を液体クロマトグラフィ（LC）にて分離し、分離された物質を質量分析装置（MS）にてイオン化し分析する過程を2段階行い、高精度で分子を同定する装置。

【装置概要】

分解能： 最大 140,000 (m/z200 における FWHM 法)

耐圧： 100 MPa

カラム温度調節： 5~110 °C



© Thermo Fisher Scientific

【株式会社安評センターについて】

多数の製薬企業・化学企業等からの基金をもとに1978年に設立された公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターが前身です。GLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）及びAAALAC（国際実験動物ケア評価認証協会）認証施設において、科学性と信頼性に立脚した安全性評価を通じて人類の幸福に貢献することを使命と位置づけ、医薬品、食品、食品添加物、農薬、一般工業化学物質等の化学物質の安全性を評価するための各種試験研究を受託しています。

お問い合わせ先

株式会社 安評センター 事業推進部

〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2

E-Mail : contact@anpyo.co.jp URL : <https://www.anpyo.jp/>